

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも...

Vol.8

○○には愛がある...



石鏡、国崎、相差、畔蛸、

初対面の人になかなか正しく読んでもらえない地名です。なぜかこの四つの集落が隣り合っているのもまた不思議です。その中で石神さん効果でしょう、「最近パソコンで『おうさつ』と入力するとちやんと『相差』と変換されるようになった」と相差の友人が誇らしげに話すのを耳にしました。やっと日本中に、いや世界中に認められるようになった、とても言いたげでした。

私の住む、安楽島もなかなか読めそうで読めない地名のひとつです。以前は「安くて楽しい島」と書きますが離島ではありません」と説明したりしたものです。最近では防災のこともあるので「安全安心で楽しい・・・」と解説すると記憶にとどめてもらえるようになりしました。

昨秋、欧州の在日大使館の皆さん十数名の方々が鳥羽・

志摩を訪問され、私も二回の

夕食に同席し、交流を深める機会がありました。その中で私はスロバキアと間違えてスロベニアの大使に声をかけてしまつたという失態をしてしまいました。当事者の大使にとってはよくあることなのでしよう。女性の大使閣下はやさしく私に言いました。

「スロベニアの国名を憶えてもらうのにはいいアイデアはありませんか?」私たちはこんなふうに憶えてもらっています「Slovenia」という文字の中にはloveがあります」世



ドラマのワンシーンより

界の国名の中にloveがあるのはスロベニアだけなのです」(ちなみにスロバキアのスペルはSlovakと書きます)国名の中にLOVE(愛)があるって相手のハートをつかみますよね。どうですか、皆さんもスロベニアのことを忘れられなくなりましただね...!

※現在、白鳥羽音しじとりはのんが活躍するドラマ「恋する鳥羽」という特別番組がZTVコミュニティチャンネルで放送中です。午後11時から15分間で全10話。鳥羽の人物、施設がすべて実名で登場します。

今、第7話まで進んでいますが、スロベニアのエピソードの第4話「羽音、市長に会いに行く」の中で私がこのエピソードを紹介しています。見逃した方は観光協会ホームページからYouTubeでいつでもご覧になれます。



YouTube “恋する鳥羽” バナー



Vol.166

市民課人権・生活係 ☎ 1126

「ダイバーシティ」

いよいよ平昌オリンピック、パラリンピックが開幕します。オリンピック・パラリンピックは、4年に1度のスポーツの祭典で、各国のトップアスリート達はその頂点を目指し、それまで培ってきた全ての力をぶつけ合います。

そして、この2年後2020年にはいよいよ日本で、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

さて、この東京大会のエンブレムについては、何かと世間を騒がせ注目を浴びたので、みなさんも見覚えがあるかもしれません。そこに、「みんなの輝き、つなげていこう。Unity」(Unity: Diversity) という広報メッセージが添えられているのをご存知でしょうか?

という言葉、ここ数年でよく耳にするようになりましたが、「一人一人の多様性」を意味します。このエンブレムもよく見ると3つの異なる四角形から構成されており、これらは「多様性」を表しているそうです。

「みんなちがうから、おもしろい。みんなちがうけれど、つながれる。互いに認め合い、支え合いながら、ひとつになる時がやって来ます。同じ形、同じ数の四角形でつくられるふたつのエンブレム。それは、すべてが平等である証。障がいの有無を越えて、あらゆる障壁を越えて、人と人がつながっていきま

す。スポーツの感動は、スポーツの興奮は、世界中誰もが共有できる。世界中みんなをひとつにする。

新しい未来は、きっと、ここから生まれます。」(東京2020大会エンブレムコンセプトムービーより) オリンピック・パラリンピックを通して平和や国際交流、異文化理解などが深まり、多様性を尊重する人権感覚が育つことを期待しています。